

平成30年度第2回小串警察署協議会会議録

開催日時	平成30年8月29日（水） 15：30から16：30まで	
開催場所	下関市豊浦町大字小串191-1 小串警察署1階 講堂	
出席者	委員	西島英敏、矢田瑞枝、高野多紀子、大石正夫、前田敏道 計5人
	警察署	署長、次長兼警務課長、会計課長、刑事生活安全課長、会務係員 計5人
議題	1 警察業務の推進状況 2 大規模自然災害等に備えた諸対策の推進（協議）	
<p>1 会長挨拶</p> <p>本日は委員の方々には大変暑い中、室津下漁港で行われた大規模災害を想定した在関3警察署合同の水難救助訓練等を最初に見ていただいた。</p> <p>先日は西日本の大豪雨災害があり、今はいつ、どこで、どのような災害が起きるか分からない情勢である。今日のような訓練を見て、我々市民の安全を守ってもらえるていることを感じる事ができた。毎年のようにいろいろなところで大災害が起きているので、一般の方も災害について関心を持つようになってきていると思う。今年も、台風に関しても今までになかったような進路をとっている。</p> <p>本日は、警察の皆さんの災害訓練を間近に見ることができ、大変良かったと思う。</p> <p>2 署長挨拶 (省略)</p> <p>3 署長業務説明</p> <p>(1) 警務会計課関係</p> <p>ア 警察安全相談 平成30年7月末の警察安全相談の取扱い状況について説明した。</p> <p>イ 広報活動 平成30年7月末の広報活動推進状況について説明した。</p> <p>ウ 遺失物拾得物関係 平成30年7月末の遺失届、拾得届の取扱い状況について説明した。</p> <p>(2) 地域交通課関係</p>		

ア 110番通報への対応状況・トータルリスポンスタイム関係

平成30年7月末の110番通報への対応状況及びトータルリスポンスタイムについて説明した。

イ 交通事故発生状況

平成30年7月末の交通事故発生状況について説明した。

ウ 交通指導取締りの推進

平成30年7月末の交通指導取締りの推進状況について説明した。

(3) 刑事生活安全課関係

平成30年7月末の犯罪情勢と犯罪抑止・検挙活動の推進状況について説明した。

4 協議 ～大規模自然災害等に備えた諸対策の推進～

近年の県内での災害発生状況及び本年中の小串警察署管内の災害発生状況、災害に備えた諸対策について、訓練視察会場で説明した。

5 諮問事項に関する質疑応答

(署長)

災害訓練の関係で8月26日に、豊浦町で防災訓練を下関市と消防、警察で行っている。豊北町は来月に防災訓練が予定されている。訓練の際、消防の方が話されていたが、豊浦町では、住民の方が参加する住民参加型の防災訓練は、今年が2回目であった。昨年の豊北町の防災訓練では、消防署員と消防団の方が倒壊家屋に負傷者がいるという想定で、木材をチェーンソーで切断し、負傷者を運び出す訓練を行った。

今年の豊浦町の防災訓練は、実際に小串小学校を避難場所に設定し、小串地区の住民の方が各自治会ごとに班を作り、全部で117名が参加して行われた。各地区ごとに補給班や避難所班を決め、実際に総合支所の職員の指示で、避難してきた人の名前を確認し、その地区でまだ避難してきていない人を把握するような訓練を行った。訓練の主体が自治会長を中心に住民の方々で行われていた。他には、避難がひととおり落ち着いた段階で、消防が、段ボールで避難場所の間仕切りを作るやり方を実際に段ボールを使って教え、住民の方が実際に作ってみる訓練であった。住民主体の訓練をしていると感じた。

(委員)

実際にそういう訓練をやっておくのは良いことだと思う。また、災害で避難する時、ほとんどの人が車で避難場所まで行くと思うので、道路が渋滞しないように、各自治会が中心になって、事前に避難する道路を決めておくと思う。やはり各自治会が中心になって行うのが、地区のことがよく分かって良いと思う。

(署長)

豊浦町、豊北町の住民の方々は、お互いを思いやり声を掛け合ったりして、地域の絆の強さを感じる。都会では、マンション、アパートで隣の人がどういう人か分かっていないのがほとんどだと思う。そういう面からも豊浦、豊北は、人情味が厚く、地域、家族の絆が強いところだと思う。

(次長)

先ほど、室津下漁港で、実際に災害訓練を視察されて、何か感じたことや、思ったことがあればお願いします。

(委員)

私は、警察の災害訓練を見るのは今日で2回目である。担架で怪我をした人を運ぶ訓練で、毛布で担架を作ったりするのを見て、やはり日頃からこのような訓練をしていなければ、実際に災害が起きた時にできないと感じた。

(次長)

やはり日頃から訓練をしていなければ、いざ災害が起きた時にできないと思う。チェーンソーの使い方も日頃からしていなければ分からない。

(委員)

今日は訓練なので準備が整っていたから良いが、実際、緊急に災害が起きた時に訓練のような事ができたら良いと思う。

(次長)

突発的に災害が起きた時、いかに冷静に対応できるかが、今日訓練をして感じた。まだまだ課題が多いと思うので、引続き訓練の必要がある。

(委員)

私は以前、地区の婦人会があった時に婦人防災クラブの会員をしていた。しかし婦人会が解散になり、それによって婦人防災クラブも解散になった。その後、その時の会員16人が話し合っって地区の防災クラブを立ち上げ、今年で2年目になる。昨年は、消防署主催と地区社協主催の防災研修会に地区防災クラブ員として参加した。今、話があったように段ボールを使って簡易ベッドを作る方法を消防署の方に教えていただきながら自分たちで実際に作った。避難した際に、硬い体育館の床に直接寝るよりも、段ボールを敷いて寝た方が身体の痛みは少なくなる。また他には、段ボールで仕切りを作れば少しでもプライバシーが保たれるということ、アルミホイルとろうそくを使ってお湯を実際に沸かすこともやったりした。この時の研修会は、もしも災害が起きて避難した場合、女性ができることがあるという研修会でもあった。地区防災クラブ16人が研修会を受けたが、それぞれが違う地区なので、その者が会合等で他の人に話していけば、実際に被災した場合、自分ができることが多くの人に分かると思った。また住民の方も一人でも多くの方が研修会や避難訓練に参加し、実際に被災した時に自分でできることを知るべきである。

地区社協の研修会では、自分の住んでいる地区のハザードマップを作った。その地区に住んでいる者だから分かる場所がある。例えば、この道は車1台がようやく通れる道幅なので、水が溢れた時はこちらの道を通った方が良く、と自分たちで地図に赤色や黄色の線を書いて地区のハザードマップを作成した。同じ地元でも結構知らない場所があったので、一人が知っていることをいろいろな会合や研修会で話していけば他の多くの人に伝わると思った。避難訓練や研修会に参加するという防災意識を持つことが大事だと思う。

(次長)

最近は大きな災害がいろいろな場所で起きている状況であるが、そういったニ

ユースを見聞きしても、自分たちの所は大丈夫だろうと、ほとんどの方が思っているのではないかと思う。やはり災害はいつどこで起きるか分からないので、多くの方が災害に関心を持って、今話された災害訓練や研修に参加することが大切と思う。

(署長)

豊浦町の訓練の時、消防署長が話していたが、とにかく災害が起こった時は、まず自分の身は自分で守ることが大切であると話していた。家庭でも災害がいつ起こってもいいように、予め家族間で話をして家族がどこで落ち合うか決めておくことも大切だと話されていた。大きな災害が起きた場合、消防・警察は、被害が大きい場所に集中することになるので、皆さんの地域に行けるとは約束できないので、まず自分の身は自分で守ることが大切だと話されていた。私も署員に対しては、災害が発生すれば家族を残して被害の大きい現場に行くことになるので、自分がない時の家族の避難経路や避難場所、家族が落ち合う場所を予め決めておくよう指示している。

(委員)

東日本大震災の後、実際に津波の被害に遭われた方の多くが、高い防波堤を造るよりも、高台に避難する道路を何箇所か造って欲しいと言っていたのを聞いたことがある。津波が今から来るといふ時、高台に避難する道路が1本しかなく、避難する車や人で道路が渋滞し、多くの方が津波に飲み込まれて亡くなったと話していた。

(次長)

今は、想定外のことが起きているので、高い防波堤を越える津波が来ないとも限らない。それよりも確実に逃げるができる道路を何本か作ってほしいと言われることもよく分かる。実際に災害に遭われた方々の声を生かすことも大事なことだと思う。

(委員)

今は、災害の発生が予想される時は、防災メールで避難指示などが出るが、その際、いち早く高齢者の方を避難させることを行政で予め考えておいてほしい。やはり下関市内はこれまで大きな災害が起きていないので他人事と考えている人が多いと思う。災害が起きた時にどうするかという訓練を行政が中心になって、各地区ごとに住民と一緒にやるのが大切だと思う。

(次長)

皆、自分のところは大丈夫と思っているところがある。防災メールが入ってきても真剣に対応する方は少ないと思う。それではやはりいけないので、日頃から自分で災害が起きた時にどうするかを自分なりにシミュレーションしておくのが大切だと思う。

(委員)

各関係団体が、年に何回か災害に関して情報交換をすることが必要と思う。自分のところが持っている情報を、他の機関と共有していくことが大事だと思う。

(次長)

関係機関との連携や情報交換は、災害だけに限らず大切なことだと思う。

6 その他の意見要望

(委員)

来週から学校が始まるが、私は毎朝交通立哨をしていて、子供たちに挨拶をしているが、いつもなら元気に挨拶をしてくれる子供が、私が挨拶をしてもうつむいたままで挨拶をしないと何かあったのではないかと心配になる。他の子供に最近、その子に何かあったかどうか聞くようにしている。最近の子供が被害に遭う事件が全国でも発生しているので、地域の大人たちが子供を見守っていくように気を付けておけば、子供が被害に遭う事件の防止に少しでも役立つのではないかなと思う。

(署長)

関係機関との連携ということで、年に1回警察と学校とが「学校警察連絡協議会」というものを開催している。管内の学校長や生徒指導担当の先生と警察署の生活安全課長や生活安全課の担当者が集まって、お互いに情報を交換し、犯罪情勢を共有し合って、これからどのようにしていくかというような協議会がある。通学路の危険箇所や児童、生徒に声かけをする不審者がいるという地域の情報を学校と早期に共有し、対応するようにしている。今日は、下関署、長府署、当署の3署が合同で災害訓練をやったが、3署とも行政が下関市ということもあり、下関署を中心に長府署と当署の3警察署が、防災面にしても防犯関係、事件対応にしても常に連携をとって、様々な事案に対応できるようにしている。

(次長)

他にご意見等がなければ以上で平成30年度第2回小串警察署協議会を終了させていただきます。

7 次回開催予定

平成30年度第3回小串警察署協議会の開催予定は、10月頃とする。

8 配付資料

- 平成30年度第2回協議会資料～（警察署作成）
- 諮問事項関係資料